地域連携室 “あざれあ” 便り　第 94 号

２月

季節を分けると書いて「節分」。春はもうすぐそこまできています。しかし地震で大きな被害を受けた能登に春が訪れるのは、もう少し先のようです。
今月は、今年度の研修会を中心にご報告します。

令和5年度　医療介護連携のための多職種研修会　終了

地域連携室あざれあでは、毎年医療介護連携に関する多くの研修会を企画しています。今年度も昨年度に続き、感染対策のためにオンラインと会場を併用して研修会を開催し、１月をもって全ての研修を終了しました。多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。次年度は、徐々に会場でのグループワークを含めた研修会を復活させる予定です。令和６年度の研修会については、改めてホームページでご案内します。参考にしてください。なお、今年度開催した研修会の内容は次の通りです。

【令和５年度　在宅医療・介護連携推進事業に係る研修会】（全９回）

① 5/11：「薬剤師さんに相談してみよう！お薬の困りごと」
② 6/8　：「在宅現場で注意すべき皮膚疾患」
③ 7/13：「褥瘡ケア（栄養管理編）」
④ 8/10：「在宅における嚥下困難者の水分管理と食事の工夫」
⑤ 9/14：「多職種のための接遇セミナー」
⑥ 10/12：「腸内環境整っていますか～下痢・便秘～」
⑦ 11/9：「在宅と施設で求められる感染対策」
⑧ 12/14：「がんと向き合い自分らしく生きる」
⑨ 1/11：「たまには自分の体に向き合ってみませんか？」

東広島市市民公開講座申込　定員に達す

来たる3月9日（土）東広島芸術文化ホールくらら で「病と向き合う人の こころに寄りそう」と題して開催する東広島市市民公開講座は、大好評につき申込みが定員の 240 人に達しました。市民の皆さんが、「病について」「死について」「いかに生きるかについて」など日頃から真剣に考えていることが、定員に達する早さからうかがえます。

当日の基調講演は、看護師・僧侶などの資格を持つ、玉置妙憂さんです、「死にゆく人の心に寄りそう 医療と宗教の間のケア」と題してご講演くださいます。この市民公開講座が、参加される皆様お一人お一人にとって、生と死・医療やケアについて改めて考えるきっかけになることを願っています。